3　資金不足比率の状況

（単位：%）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）		平成22年度（第２年度）	平成31年度（第11年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	238.0	248.0	240.2	250.5	—

※平成21年度の計画値と実績値の差異については、資金不足額の減少及び事業規模の拡大による。

4　その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・平成22年度から15年間にわたり改築資金の起債元金について一般会計からの繰入を行い、資金不足比率の改善を図る。

北海道釧路市　釧路市設魚揚場事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1　計画と具体的な措置の状況

・光熱水費等の施設管理費の削減については、当初計画どおり実施。

・一般会計からの繰入れについては、概ね当初計画どおり実施。

2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）	平成22年度（第２年度）	平成30年度（第10年度）
当初計画　A		287,301	281,218	297,934
解消実績額　B		279,469	—	—
現在計画　C		279,469	281,218	297,934
B－A又はC－A		△ 7,832	0	0
資金不足額	2,913,900	2,634,431	2,353,213	—

3　資金不足比率の状況

（単位：%）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）		平成22年度（第２年度）		平成30年度（第10年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	2,933.9	2,854.7	3,320.5	2,555.4	—	—

⑴　健全化法第十八条第１項の規定による報告の概要

北海道夕張市　財政再生計画実施状況報告（概要）

第１　計画と具体的な措置の状況

1　事務及び事業の見直し、組織の合理化その他の歳出削減に関する状況

○主な歳出削減項目

人件費　：職員数の維持、一般職及び特別職給与の削減及び退職手当の執行が計画を下回ったこと等により計画比42百万円の削減

物件費　：経費削減及び契約事務の適性化により計画比89百万円の削減

維持補修費　：経費削減及び少雪のため除雪経費が計画を下回ったこと等により計画比104百万円の削減

扶助費　：生活保護受給者が計画を下回ったこと等により計画比296百万円の削減

補助費等　：経費削減及び債務負担行為による損失補償金の一部繰上償還を実施し、後年度の利子負担を軽減

投資的経費　：経費節減を行う一方、平成22年４月に統合する中学校の改修など必要な事業を実施

公債費　：再生振替特例債を財源として北海道からの一時借入金を早期に償還することにより利子負担を軽減

他会計繰出金：計画どおり繰出しを実施

※当該年度までの累積実績額（うち一般財源相当額）：3,216百万円（2,573百万円）

2　地方税その他の収入の増徴に関する状況

○計画どおり合理的な計画徴収に努めた結果、平成21年度の特殊要因を除いた前年度との比較で市税の徴収率が現年度分、過年度分ともに上昇

※当該年度までの累積実績額（うち一般財源相当額）：22百万円（22百万円）

3　地方税その他の収入で滞納に係るものの徴収に関する状況

○税や使用料の滞納者について、悪質な滞納者に対しては法的措置を講じることとし、訴訟を提起

※当該年度までの累積実績額（うち一般財源相当額）：７百万円（７百万円）

4　使用料等の変更、財産の処分その他の歳入の増加に関する状況

○市有財産のインターネットによる売却や市庁舎空きスペースを金融機関に有償貸与するなど収入確保策を実施

※当該年度までの累積実績額（うち一般財源相当額）：71百万円（１百万円）

5　超過課税又は法定外普通税による地方税の増収に関する状況

○法令上の上限の税率などを踏まえ、平成19年度に行った見直しを継続して実施

※当該年度までの累積実績額（うち一般財源相当額）：52百万円（52百万円）

第２　実質赤字解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）	参考：平成38年度（実質最終年度）
当初計画　A		32,199,466	0
解消実績額　B		32,624,183	
現在計画　C		32,199,466	0
B－A又はC－A		424,717	0
赤字残額	32,199,466	0	0
再生振替特例債の未償還元金		32,199,000	0